

公益社団法人 東京生薬協会

平成 26 年度

(2014年4月1日~2015年3月31日)

事業報告書

I 平成 26 年度 事業報告

■ 1 号事業 生薬、薬用植物等の普及啓発に関わる活動（その 1）

生薬、薬用植物に関する知識や情報の啓発により、国民の健康増進に寄与する事業を実施した。

1) 薬草観察会 (学術委員会)

①春の薬草観察会

- ・開催日：平成 26 年 5 月 25 日（日）10：00～15:00
- ・場 所：多摩森林科学園
- ・講 師：和田浩志、磯田 進、小根山 隆祥、南雲清二、鈴木幸子、高橋 宏之(敬称略)
- ・参加者：89 名
- ・参加費：無料（保険料 100 円）

②秋の薬草観察会

- ・開催日：平成 26 年 10 月 12 日（日）10：00～15：00
- ・場 所：南高尾山陵
- ・講 師：和田浩志、磯田 進、小根山隆祥、南雲清二、鈴木幸子、高橋宏之(敬称略)
- ・参加者：80 名
- ・参加費：無料（保険料 100 円）

2) 薬草収穫感謝の会 (総務委員会)

- ・共 催：東京都、(公社)東京生薬協会、(公社)東京薬事協会、(公社)東京都薬剤師会、本町生薬会
- ・開催日：平成 26 年 11 月 8 日（土）10：00～15：00
- ・場 所：東京都薬用植物園
- ・講 師：秋田県立博物館 学芸主事 浅利 絵里子
- ・演 題：「あきた薬の今昔物語」
- ・参加者：125 名受講
- ・植物園見学参加者：85 名
- ・入園者：915 名 (対前年比 103%)
- ・記念品配布者数：500 名(花の苗 500 鉢、お土産袋 500 袋)

3) 第 30 回 生薬に関する懇談会の開催 (学術委員会)

市場に流通する主要生薬について、基原植物、栽培、流通、品質、薬理、臨床などの多面的な視点から研究報告や意見交換を行う場として、産学協同で開催した。

- ・共 催：日本生薬学会関東支部、公益社団法人東京生薬協会
- ・開催日：平成 26 年 12 月 6 日（土）13：00～18：00
- ・会 場：星薬科大学
- ・テーマ：ポウイ（防已）
- ・参加人数：290 名

- ・参加費：3,000 円、懇親会費：2,000 円

4) 薬用植物・生薬に関する講習会

(学術委員会)

会員及び国民の人を対象に、薬用植物や生薬に対する基本的知識を提供することにより、薬用植物・生薬、薬用植物園などに幅広く興味をもってもらえる様、開催した。

- ・テーマ：生薬・漢方からのセルフメディケーション
- ・開催日：平成 26 年 10 月～平成 27 年 3 月の日曜日（5 回シリーズ）
- ・参加費：1 回 2,500 円 ・参加者合計 284 名（対前年比 117%）

開催日	12:30~14:00	14:15~15:45	参加者数
【第1回】 10月26日 (日)	神農本草経の上薬の解説Ⅱ 東京生薬協会 学術委員会 委員長 小根山 隆祥 先生	子育ての養生法Ⅱ 聖マリアンナ医科大学客員教授 崎山 武志 先生	42
【第2回】 11月30日 (日)	女性のための漢方Ⅲ ヨシコクリニック院長 高木 嘉子 先生	養生として「お屠蘇を作ろう」 (株)ウチダ和漢薬 秋葉 秀一郎 先生	64
【第3回】 1月18日 (日)	伝統薬で養生(動物生薬編) 東京都薬用植物園 元園長 清水 虎雄 先生	心の養生法Ⅱ 青山杵淵クリニック院長 杵淵 彰 先生	51
【第4回】 2月22日 (日)	漢方最古の古典「黄帝内经」にみる養生Ⅱ 東京生薬協会 学術委員会 副委員長 山内 盛 先生	養生と漢方 東海大学医学部 准教授 新井 信 先生	60
【第5回】 3月22日 (日)	未病と養生 千葉大学環境健康フィールド科学センター グラウンド Floor 池上 文雄 先生	皮膚科疾患の漢方療法 医療法人社団 金匱会診療所 所長 山田 享弘 先生	67

5) OTC医薬品とセルフメディケーションの啓発活動

(事務局)

- ・主催：(公社)東京生薬協会、(公社)東京薬事協会、(公社)東京都薬剤師会、日本一般用医薬品連合会（日本OTC医薬品協会、日本家庭薬協会）、(公社)東京都医薬品登録販売者協会
- ・後援：厚生労働省、東京都、日本商工会議所、東京薬科大学
- ・協賛：くすりの適正化協議会
- ・開催日：平成 26 年 9 月 12 日（金）～13 日（土）
- ・会場：新宿西口地下広場イベント会場
- ・出展社：29 社
- ・来場者：2 日間で約 3 万人

- ・内 容：模擬店舗、アンケート調査、クイズラリー、e健康ショップ、検体測定室、健康チェックコーナー、調剤体験コーナー、ハンドマッサージコーナー、懐かしいくすり展、薬剤師の仕事展

6) 会報の発行 (7月、1月) (広報委員会)

- ・生薬や薬用植物に関する最新情報や薬用植物園に関する情報を提供し、また協会の活動状況をお知らせするために年2回発行し、会員及び大学、関係団体等へ配布した。
- ・発行部数：450部

7) 協会ホームページの更新 (広報委員会)

- ・ホームページでの「お花の見頃情報」や「最新イベント情報」「薬用植物国内栽培事業」などを随時更新した。
- ・協会に関する基本情報についても更新した。
- ・第16局改正に伴い、既収載の「新常用和漢薬集」の内容を見直し、局方に準じた内容にした。(95生薬)

- ・ホームページへのアクセス状況

期 間	訪問数	ユーザー数	ページビュー数	新規訪問割合
2013.04.01～2013.09.30	21,158	12,706	75,685	56.69%
2013.10.01～2014.03.31	17,055	10,460	54,762	56.66%
2013 (平成 25) 年度合計	38,213	23,166	130,447	
2014.04.01～2014.09.30	27,750	17,334	99,769	58.80%
2014.10.01～2015.03.31	25,931	16,773	73,405	60.70%
2014 (平成 26) 年度合計	53,681	34,107	173,174	
(下期：前年同期比)	152.0%	160.4%	134.0%	
(年間：対前年比)	140.5%	147.2%	132.8%	

訪問数・ユーザー数で、前年同期比 1.5 倍を超える伸びを示した。2014 年 9 月に実施した HP リニューアルで整備したコンテンツの薬用植物国内栽培事業、薬用植物・生薬に関する講座へのアクセスが増加した。

年間アクセス数では、前年度比で 1.3～1.4 倍の伸びとなり、引き続き順調なアクセス増加傾向である。

8) ふれあいガーデン事業 (参加者合計：428 名 対前年比 98%) (事業管理委員会)

東京都薬用植物園ふれあいガーデンの実施

- 平成 26 年度は、薬用植物園のサービス向上を目的として、「東京都薬用植物園ふれあいガーデン共同事業体」(公社)東京生薬協会、(公社)東京薬事協会、北部緑地(株)の 3 者共同事業体にて、園内 400 m²を対象に薬用植物に関連した事業（下記のイベント等）を実施した。

	開催日	テーマ	講師(敬称略)	参加者数
4月	5日(土)	楽しい薬膳 春	近藤美春	27
	12日(土)	魅惑のロックガーデン	鈴木幸子	54
	19日(土)	春のハーブ	小泉美智子	28
5月	24日(土)	活き活きリース教室	田淵清美	27
6月	7日(土)	爽快アロマセラピー	鈴木悦子	20
	21日(土)	楽しい薬膳 夏	近藤美春	60
7月	12日(土)	夏のハーブ	小泉美智子	29
9月	13日(土)	やさしい草木染	山浩美	31
11月	15日(土)	楽しい薬膳 晩秋	近藤美春	45
12月	13日(土)	手湯の温もり	小根山隆祥	31
3月	7日(土)	自分だけのスパイス	磯部 友美	41
	28日(土)	スプリング・エフェメラル	吉澤政夫	35

9) 新常用和漢薬集の改訂 (学術委員会)

ホームページ上の新常用和漢薬集に掲載されている生薬を現日本薬局方（16局）と照合する作業を実施し、改訂作業を実施した。

15種追加（トウガラシ、ハッカ、ボウイ、シャゼンシ、インヨウカク、マシニン、シゴカ、ウイキョウ、ロートコン、シンイ、ウコン、カシュウ、ニクズク、ゴボウシ、ニガキ）

公開品目数は、95 生薬となった。

■ 1号事業 生薬、薬用植物等の普及啓発に関わる活動（その2）

【東京都薬用植物園受託事業】 (事業管理委員会)

東京都薬用植物園の管理事業の全面委託に伴い、今までの実績を生かして薬用植物や生薬に対する知識・情報を国民に対し正しく普及し啓発する活動を積極的に実施した。

1) 東京都薬用植物園の事業管理

(1) 東京都薬用植物園の総合案内を行った。

窓口対応：開園時間帯における来園者対応 : 882 件

電話対応：開園時間帯における電話等照会対応 : 1,336 件

園内管理：土、日、祝日対応 : 115 日

年間来園者数：128,678人（対前年比104%）

(2) 栽培補助業務（標本栽培区、温室、育苗その他）：延べ1,561人・年

(3) 調査研究、鑑定、鑑別補助作業（ケシ、アサ、サボテン類、違法ドラッグ、トウゴマ等農作業補助、データ整理、文献調査、計測等の補助業務）：
延べ348人・年

(4) 普及啓発事業（詳細は各項）：52日間実施、参加者数：2,098名
協会の応援人数延べ：82人

(5) 印刷物等作成

植物園案内パンフレット	5,000部
写真で見る絶滅危惧種植物	5,000部
「四季の薬草」パンフレット	5,000部
ケシ鑑別マニュアル	1,000部
種子交換リスト	400部
講習会等の参加者用資料、掲示用ポスター類	2,400部
野外展示用ラベル及び立て札	120枚
ケシ講座他	3,200枚

(6) 東京都薬用植物園建物・施設の管理

保守点検：冷暖房、防火設備、ボイラー、電気設備、給水タンク、温室等

栽培管理：沿道植栽樹木、病虫害駆除、通路の草刈等

清掃：薬事資料館、研修室、標本室、トイレ、廃棄物の処理等

警備：薬事資料館、研修室、収納舎、ケシ・アサ栽培区等

2) 普及啓発・研修業務

(1) 薬草教室の開催（会場：東京都薬用植物園）

薬草教室を年間8回実施した。合計参加者：840名（対前年比110%）

来園者数：4,207名（対前年比136%）

	開催日	講演内容	講師(敬称略) (所属)	参加者数	来園者数
1回	4月25日(金)	道端の食べられる草と薬草	指田 豊(東京薬科大学名誉教授)	186	1,110
2回	5月22日(木)	江戸のスパイス	山内 盛(東京生薬協会学術副委員長)	123	1,114
3回	6月25日(水)	梅雨時に見られる薬草	磯田 進(昭和大学薬学部講師)	86	478
4回	7月25日(金)	熱帯の薬草	南雲 清二(星薬科大学名誉教授)	55	173
5回	8月28日(木)	漢方医学からみた健康とは	大野修嗣(大野クリニック院長)	81	344
6回	9月19日(金)	癌治療における漢方の役割	新井 信(東海大学医学部)	99	411
7回	10月23日(木)	植物色素とその薬効	和田浩志(東京理科大学薬学部講師)	114	212
8回	11月27日(木)	薬用植物園林地で見られる植物	吉澤政夫(森林インストラクター)	96	365

(2) 薬草観察会の開催（講師：東京都薬用植物園職員）

① 春の薬草観察会

平成 26 年 5 月 25 日(日) 多摩森林科学園 89 名

② 秋の植物観察会

平成 26 年 10 月 12 日(日) 南高尾丘陵 80 名

(3) 薬草の普及啓発講座（合計参加者：1,089 名 対前年比 103%）

平成 26 年度は以下のような薬用植物に関する普及啓発講座を実施した。

	開催日	テーマ	講師(敬称略)	協会	草屋舎	参加人数
4月	5日(土)	楽しい薬膳 春	近藤美春		○	27
	12日(土)	魅惑のロックガーデン	鈴木幸子		○	54
	19日(土)	春のハーブ	小泉美智子		○	28
5月	1日(木)~23日(金)	ケシのパネル展	展示	○		—
	10日(土)・11日(日)	ケシのミニ講座	薬用植物園職員	○		356
	24日(土)	生き活きリース教室	田淵清美		○	27
6月	7日(土)	爽快アロマセラピー	鈴木悦子		○	20
	21日(土)	楽しい薬膳 夏	近藤美春		○	60
7月	12日(土)	夏のハーブ	小泉美智子		○	29
	20日(日)	薬草クイズラリー	東京生薬協会	○		158
8月	15日(金)	夏休み子供植物教室	中山麗子	○		32
9月	13日(土)	やさしい草木染	山浩美		○	31
11月	15日(土)	楽しい薬膳 晩秋	近藤美春		○	45
12月	13日(土)	手湯の温もり	小根山隆祥		○	31
	17日(水)	木の実・草の実リース作り	中山麗子	○		35
2月	13日(金)	健康講座（薬事協との共催）	清水虎雄	○		80
3月	8日(土)	自分だけのスパイス	磯部友美		○	41
	28日(土)	スプリング・エフェメラル	吉澤政夫		○	35

(4) 研修業務の実施

東京都が主催する薬事監視員、警察、薬学生、医学生対象の研修会を補助した。

対象	開催回数	対象者数
① ケシ特別講座	15回	1,148名
② 薬務、保健所等研修	8回	83名
③ 警察、薬防協等研修	20回	433名
④ 学生研修	7回	25名
⑤ 日本薬剤師研修センター漢方認定研修	2回	50名
⑥ 一般(団体)指導	11回	284名

3) 薬用植物の栽培

- ①薬事監視業務の一環とし、ケシ、大麻の栽培補助、農作業補助を行った。
- ②ケシ、大麻以外の薬用植物の栽培管理、農作業全般を行った。

場 所：東京都薬用植物園

期 間：通年

4) 薬用植物の収集、保存及び展示

東京都職員の指示により行った。

- ①種子交換：種子調整・整理、交換リスト作成、種子の受付発送を行った。
- ②さく葉作成：種の同定、さく葉の作成、リスト作成、保管整理を行った。
- ③生薬標本の作成：種の同定、標本作成、リスト作成、保管整理を行った。
- ④資料館に薬用植物の標本類の展示及びラベルの整備を行った。

5) 鑑定、鑑別補助

東京都職員が行う植物鑑定、鑑別試験のために必要な、文献調査、資料の提供及び鑑別用標本の購入保管を行った。

■ 2号事業 生薬、薬用植物等の栽培、育成等に関わる活動

1) 薬用植物栽培説明会の開催

(薬用植物国内栽培事業委員会)

- ①開催日：平成26年7月1日(火)
場 所：秋田県庁第2庁舎
内 容：『製薬企業が求める生薬とは』
講 師：金井副会長
- ②開催日：平成26年10月29日(水)
場 所：福井県高浜町
内 容：『なぜ今、国産生薬の栽培か』
講 師：末次専務理事
参加者：35名
- ③開催日：平成26年11月6日(木)
場 所：長野県阿智村役場
内 容：『なぜ今、国産生薬の栽培か』
講 師：末次専務理事
参加者：15名

■ 3号事業 生薬資源等の基原・品質・薬理等の調査研究に関わる活動

1) 日本薬局方原案審議委員会への参加

(学術委員会)

- ①生薬等(A)委員会：4月、6月、9月、11月、1月、3月に開催、菊地氏・山路氏(ツムラ)が参加。生薬等(B)委員会：3月、5月、7月、10月、12月、

2月に開催、武田氏（ツムラ）が参加。いずれも討議の結果が学術委員会にて報告された。第十七改正日本薬局方 査読会：2月に開催、菊地氏（ツムラ）が参加
②第十七改正日本薬局方はパブコメ，最終査読終了，2016年3月告示予定
[生薬]

- 既収載：確認試験及び純度試験（TLC法）の追加・修正
（厚生労働研究→局方収載）

協会加盟会社（5社，他2社）：ウチダ和漢薬，救心製薬，大正製薬，
栃本天海堂，ツムラ

協力会社（2社）：イスクラ産業，田村薬品工業

JP16 第一追補及び第二追補（42品目）

JP17（22品目）アマチャ，オウバク，オウバク末，パップ用複方オウバク
散，オウバク・タンナルビン・ビスマス散，カンゾウ，カンゾウ末，クコシ，
ケイヒ，ケイヒ末，ゴボウシ，サイシン，ショウマ，シンイ，トウガシ，トウ
ガラシ末，ビャクゴウ，ベラドンナコン，リュウタン末，レンギョウ，ロート
コン，ロートエキス・アネスタミン散

- 新規収載：ボウショウ，無水ボウショウ（100%）タンジン，トウジン，
シンギ（協力）

参考情報 生薬及び生薬製剤の薄層クロマトグラフィー（100%）

[試薬 試液]

- 既収載（修正他）：19品目（100%）

ガラクトログリチルリチン酸（グリチルリチン酸のピーク中の成分）の
規格作成投稿論文作成中

- 新規収載（q-NMR 試薬規格）（厚生労働研究→局方収載）：q-NMR（4試薬）
（E）-ケイヒ酸，ゲニポシド，ロスマリン酸，サイコサポニン b₂

協会加盟会社（2社，他2機器 試薬業者）：

常磐植物化学研究所（山下氏），ツムラ（菊地氏）：検討班会議5回

[漢方処方エキス]

- 新規収載4：桃核承気湯，防己黄耆湯，防風通聖散，抑肝散

（試薬試液の担当収載および協力）

[その他] 日本薬局方インフォメーション投稿

「タクシャ」の新規収載（原案）の設定経緯：生薬学雑誌 Vol.69, No.1 (2015).

③日本薬局方外生薬規格2015（2015年秋通知予定）

菊地氏，山路氏，神本氏（ツムラ）が協力：4回（4月：1回予定）

- 新規収載

東京生薬協会担当：ショウバク，チャヨウ収載原案：承認（2014年11月）
収載予定（100%）

その他：新規収載：エンメイソウ末，ヨウバイヒ末，ジンコウ末，センナジツ
末，ショクショウ，ソウズク，ガイハク，サンシチニンジン，チクヨウ，タン
チクヨウ，局外規からの移行品目：アカメガシワエキス，メリロート，
メリロートエキス，ウラジロガシ，ウラジロガシエキス

- ・既収載品の見直し等
センレンシ、ワニクジュヨウの確認成分の同定（100%）
チクジョの基原・性状の見直し（100%）
- ・局外生規検討会（厚生労働省）：
2014年6月、11月、2015年6月予定 菊地氏（ツムラ）
が参加：3回

④漢方処方原案作成WG

- 菊地氏、神本氏（ツムラ）、山下氏（常磐植物化学研究所）が参加：5回
【公益社団法人東京生薬協会で担当収載および協力】
JP17以降の収載候補品目の全てについて審議に参加

2) 生薬栽培地の視察・情報収集活動の実施 (薬用植物国内栽培事業委員会)

①秋田県美郷町にて薬用植物栽培地の視察と記念植樹を実施した。

- ・開催日：平成26年7月5日(土)～6日(日)
- ・見学地：美郷町栽培地視察、記念植樹(ホオノキ植樹)、圃場見学
- ・交流会：薬用植物等の栽培地等の意見交換
- ・参加者：14人

②秋田県八峰町にて薬用植物栽培地等の視察を実施した。

- ・開催日：平成26年10月24日(金)～25日(土)
- ・見学地：八峰町栽培地視察、ブナ林の植物観察、薬用植物収穫作業、
キハダ植樹
- ・交流会：薬用植物等の栽培地等の意見交換
- ・参加者：14人

3) 薬用植物国内栽培の実施 (薬用植物国内栽培事業委員会)

①秋田県八峰町薬用植物試験栽培

試作品目：ウイキョウ、カミツレ、キキョウ、カンゾウ、セネガ、トウキ、センブリ、キハダ、クヌギ、ホウノキ、カリン、ビワ、ナツメ、サンシュユ等

②秋田県美郷町薬用植物試験栽培

試作品目：カンゾウ（2年目）

マルチ効果の調査、畝立て効果の調査、無肥料での効果の調査、塩ビ筒使用による作業性・生育の調査、各種ストレスによる生育の調査他
キキョウ：定植、播種（直播）

③新潟県新発田市薬用植物試験栽培

試作品目：ミシマサイコ、トウキ、ハトムギ、エビスグサ、カラスビシャク、ハッカ、シャクヤク、カンゾウ等

④新潟県新潟市薬用植物試験栽培

試作品目：ミシマサイコ、トウキ、ハトムギ、エビスグサ、カラスビシャク、

ハッカ、シャクヤク、オケラ、カンゾウ、オタネニンジン等

4) 薬用植物栽培連携協定締結式

(薬用植物国内栽培事業委員会)

①福井県高浜町薬用植物栽培連携協定締結式

- ・開催日：平成 27 年 3 月 26 日(木)
- ・調印式：薬用植物国内栽培に関する連携協定締結
- ・交流会：薬用植物等の栽培地としての可能性等の意見交換
- ・参加者：協会側：12 人(藤井会長、末次専務理事、加賀事業管理委員長他)
基盤研：1 人(川原薬用植物資源研究センター長)
高浜町側：15 人(町長、町議会議員、青葉山麓研究会他)

②岐阜県岐阜市薬用植物栽培連携協定締結式

- ・開催日：平成 27 年 3 月 27 日(金)
- ・調印式：薬用植物国内栽培に関する連携協定締結
- ・交流会：薬用植物等の栽培地としての可能性等の意見交換
- ・参加者：協会側：13 人(藤井会長、末次専務理事、加賀事業管理委員長他)
基盤研：1 人(飯田薬用植物資源研究センター筑波研究員)
岐阜市側：8 人(市長、ぎふ農業協同組合、農林水産部他)

■ 4 号事業 生薬、薬用植物等に携わる人材の育成に関わる活動

1) 薬用植物指導員認定者のフォローアップ研修

(学術委員会)

既認定指導員を対象に、より実践的に薬用植物に関する説明や案内ができるよう、さらに協会活動により積極的に協力頂くようフォローアップ研修を実施した。

① 東京都薬用植物園『QR コード』貼付作業

植物の解説ラベル約 700 種に QR コード貼付。

- ・開催日：4 月 26 日(土)
- ・参加者：8 名

②救心製薬(株)山梨工場

- ・開催日：11 月 27 日(木)
- ・内容：資料室、製造工程等を見学
- ・参加者：16 名

■ 5 号事業 その他、本会の目的達成に必要と認める事業

■ 共益事業

主に会員向けに行われる事業で、会員の親睦や情報交換を図る目的で実施した。

1) 賀詞交歓会の実施

(事務局)

- ・開催日：平成 27 年 1 月 28 日(水)
- ・会場：神田明神・明神会館
- ・出席者：85 名

2) 薬用植物生け花展・標本展の実施

(総務委員会)

「薬と健康の週間」(東京都)行事の一環として、主催の薬祖神奉賛会に協力して実施した。

- ・開催日：平成 26 年 10 月 17 日 (金)
- ・会 場：昭和薬貿ビル 2 F
- ・2階直会会場に出展した。(3 社、8 人) (株)ツムラ、イワキ(株)、協栄技研(株)
- ・出 展：秋の七草、薬用植物説明パネル及び種子標本を展示した。
- ・参加者：2,861 名

3) MCMIA (現代化中医薬国際協会) との交流

(事務局)

- ・平成 26 年 8 月に香港で開催された展示会 ICMCM で東京都薬用植物園、薬用植物国内栽培事業のポスターを掲示し、先方幹部との情報交換を行った。
- ・訪問先：ICMCM 展示会場、衛生局訪問

II. 総会、理事会、委員会等開催

通常総会	2回	5月	3月				
理事会	3回	5月	11月	3月			
会計・業務監査	1回	4月					
総務委員会	4回	4月	8月	10月	2月		
学術委員会	6回	4月	6月	9月	11月	2月	3月
広報委員会	4回	6月	8月	12月	2月		
事業管理委員会	4回	5月	9月	12月	2月		
事業管理委員会 WG	5回	4月	6月	7月	10月	1月	
薬用植物国内栽培事業委員会	6回	5月	6月	8月	10月	11月	1月

III. 会費、会員数及び平成 26 年度入退会

1. 会費収入 : 会員 119 名 (合計 10,006 円)
2. 期首会員数 : 109 名
3. 期末会員数 : 119 名
4. 入 会 (19 件 : 法人正会員 2 件、個人正会員 1 件、サポーター 16 件)
法人正会員 : 北里大学東洋医学総合研究所、エア・ウォーター株式会社
個人正会員 : 山上 勉
サポーター会員 : 16 名
5. 退 会 (9 件 : 法人正会員 2 件、個人正会員 2 件、サポーター 5 件)
法人正会員 : わかもと製薬株式会社、株式会社シェフコ
個人正会員 : 大石暢子、山下 譲
サポーター会員 : 5 名

以 上

公益社団法人東京生薬協会 平成26年度 事業報告

事業		テーマ・講師(敬称略)	日程	場所	講師(敬称略)、主催・共催	人数	対前年比	
1号事業 (学術委員会)	薬草観察会	春	春の薬草観察会	平成26年 5月 25日(日)	多摩森林科学園	小根山・和田・高橋・磯田・鈴木・南雲	89	93%
		秋	秋の薬草観察会	平成26年10月12日(日)	南高尾山陵	小根山・和田・高橋・磯田・鈴木・南雲	80	95%
	生薬に関する懇談会*	第30回	ボウイ(防已)	平成26年12月 6日(土)	聖薬科大学	日本生薬学会と共催	290	86%
	薬用植物・生薬に関する講座 (テーマ:生薬・漢方からのセルフメディケーション)	第1回	神農本草経の上薬の解説Ⅱ 子育ての養生法Ⅱ	平成26年10月26日(日)	東京都薬用植物園	小根山 隆祥(学術委員長) 崎山武志(聖マリアンナ医科大学客員教授)	42	合計 284名 対117%
		第2回	女性のための漢方Ⅲ 養生として「お屠蘇を作ろう」	平成26年11月30日(日)	〃	高木 喜子(ヨシコクリニック院長) 秋葉秀一郎(榊フチダ和漢薬)	64	
		第3回	伝統薬で養生(動物生薬編) 心の養生法Ⅱ	平成27年 1月18日(日)	〃	清水 虎雄(東京都薬用植物園 元園長) 村瀬 彰(青山杉淵クリニック院長)	51	
		第4回	漢方最古の古典「黄帝内経」にみる養生Ⅱ 養生と漢方	平成27年 2月22日(日)	〃	山内 盛(学術副委員長) 新井 信(東海大学医学部准教授)	60	
第5回	未病と養生 皮膚科疾患の漢方療法	平成27年 3月22日(日)	〃	池上文雄(千葉大学環境健康フィールド科学 センター・グランドフェロー) 山田 幸弘(金匱会診療所 所長)	67			
新常用和漢薬集の改訂	旧版記載の和漢薬(236品目)について内容を見直した。(15品目)			掲載されている生薬を現日本薬局方(16局)と照合し、改訂作業を実施(H/P:95品目アップ)				
1号事業 (総務委員会)	薬草収穫感謝の会*	生薬・薬用植物の一年の収穫を感謝する会。 演題:あきた薬の今昔物語 講師:秋田県立博物館 学芸主事 浅利 絵里子	平成26年11月 8日(土)	東京都薬用植物園	主催:(公社)東京生薬協会(公社)東京薬事協会。 (公社)東京都薬剤師会本町生薬会 共催:東京都	来園者 915 講演会 125		
1号事業 (事務局)	OTC医薬品とセルフ メディケーション	よく知って、正しく使おう OTC医薬品	平成26年 9月12日(金) ・13日(土)	新宿西口イベント 広場	共催:6団体(東京生薬協会、東京薬事協会、 東京都家庭薬工業協同組合、日本OTC医薬品協 会、東京都薬剤師会、東京都医薬品登録販売者協 会) 後援:東京都、厚生労働省、日本商工会議	約3万	100%	
1号事業 (広報委員会)	会報の発行	第457号、第458号	平成26年7月14日 平成27年1月15日	会報No.457/2014.7発行 立崎 隆 寄稿:山内 盛、村瀬 彰、小根山 隆祥、布目慎秀、生薬解説:指田 豊、総頁数:16頁 会報No.458/2015.1発行 中谷第一、藤井隆太 寄稿:山内 盛、小根山 隆祥、布目慎秀、南雲清二、清水虎雄、生薬解説:指田 豊 総頁数:20頁	450部			
	協会ホームページの更新	「お花の見ごろ情報」「最新イベント情報」「新常用和漢薬集」「協会概要」「薬用植物国内栽培事業」等の更新						
東京都薬用植物園受託事業	東京都薬用植物園の受託管理事業の充実と共に、栽培技術の 向上と伝承を図り、薬用植物や生薬に対する知識・情報を国 民に対し正しく普及啓発する活動を実施した。	1) 東京都薬用植物園の事業管理 2) 薬用植物や生薬の普及啓発事業 3) 研修業務 4) 薬用植物、生薬の栽培業務 5) 薬用植物、生薬の収集・保存・ 展示業務 6) 調査研究補助業務 7) 鑑定、鑑別補助業務			入場者数 128,678人	104%		
	薬草教室	第1回	道端の食べられる草と薬草	平成26年 4月25日(金)	東京都薬用植物園	指田 豊(東京理科大学名誉教授)	186	合計 840名 110%
		第2回	江戸のスパイス	平成26年 5月22日(木)	〃	山内 盛(東京生薬協会学術副委員長)	123	
		第3回	梅雨時に見られる薬草	平成26年 6月25日(木)	〃	磯田 進(昭和大学薬学部非常勤講師)	86	
		第4回	熱帯の薬草	平成26年 7月25日(金)	〃	南雲 清二(聖薬科大学名誉教授)	55	
		第5回	漢方医学からみた健康とは	平成26年 8月28日(木)	〃	大野 修嗣(大野クリニック院長)	81	
		第6回	癌治療における漢方の役割	平成26年 9月19日(金)	〃	新井 信(東海大学医学部准教授)	99	
		第7回	植物色素とその薬効	平成26年10月23日(木)	〃	和田 浩志(東京理科大学薬学部講師)	114	
第8回		薬用植物園林地で見られる植物	平成26年11月27日(木)	〃	吉澤 政夫(森林インストラクター)	96		
1号事業② (事業管理委員会)	イベント事業	第1回	楽しい薬膳 春	平成26年 4月 5日(土)	〃	近藤 美香(草聖舎共催)	27	合計 1,089名 103%
		第2回	寇惑のロックガーデン	平成26年 4月12日(土)	〃	鈴木 幸子(草聖舎共催)	54	
		第3回	春のハーブ	平成26年 4月19日(土)	〃	田淵 清美(草聖舎共催)	28	
		第4回	ケシのパネル展	平成26年 5月1日(木)~23日(金)	〃	ケシ畑の前	—	
		第5回	ケシのミニ講座	平成26年 5月10日(土)・11日(日)	〃	薬用植物園職員	356	
		第6回	活き活きリース教室	平成26年 5月 24日(土)	〃	小泉 美智子(草聖舎共催)	27	
		第7回	爽快アロマセラピー	平成26年 6月 7日(土)	〃	鈴木 悦子(草聖舎共催)	20	
		第8回	楽しい薬膳 夏	平成26年 6月 21日(土)	〃	近藤 美香(草聖舎共催)	60	
		第9回	夏のハーブ	平成26年 7月 12日(土)	〃	小泉 美智子(草聖舎共催)	29	
		第10回	薬草クイズラリー	平成26年 7月 20日(日)	〃	東京生薬協会	158	
		第11回	夏休み親子植物教室	平成26年 8月 15日(金)	〃	中山 麗子	32	
		第12回	やさしい草木染	平成26年 9月 13日(土)	〃	山 浩美(草聖舎共催)	31	
		第13回	楽しい薬膳 晩秋	平成26年11月15日(土)	〃	近藤 美香(草聖舎共催)	45	
		第14回	手湯の温もり	平成26年12月13日(木)	〃	小根山 隆祥(草聖舎共催)	31	
		第15回	木の実・草の実リース作り教室	平成26年12月17日(水)	〃	中山 麗子	35	
		第16回	健康講座	平成27年 2月 13日(金)	〃	清水虎雄(東京薬事協会共催)	80	
		第17回	自分だけのスパイス	平成27年 3月 7日(土)	〃	磯田 友美(草聖舎共催)	41	
		第18回	スプリング・エフェメラル	平成27年 3月 28日(土)	〃	吉澤 政夫(草聖舎共催)	35	
2号事業 (総務委員会)	秋田県庁	「製薬企業が求める生薬とは」	平成26年 7月 1日(火)	秋田県庁第2庁舎 8階大会議室	(株)金井藤吉商店 代表取締役社長 金井藤雄・	—		
	福井県高浜町	「なぜ今、国産生薬の栽培か」	平成26年10月29日(水)	福井県高浜町 城山荘	(公社)東京生薬協会専務理事 末次大作	35		
	長野県阿智村	「なぜ今、国産生薬の栽培か」	平成26年11月6日(木)	長野県阿智村役場	(公社)東京生薬協会専務理事 末次大作	15		
3号事業 (学術委員会)	日本薬局方原薬審議委員会への参加		生薬等A委員会(6回・ツムラ 菊地氏、山路氏) 生薬等B委員会(6回・ツムラ 武田氏) 局外生規検討会(ツムラ 菊地氏)					
3号事業 (総務委員会)	美郷町視察研修	美郷町栽培地視察、記念植樹	平成26年 7月 5日(土)・6日(日)	ホオノキ植樹、園地見学		14		
	八峰町視察研修	八峰町栽培地視察、ブナ林の植物観察	平成26年 10月 24日(金)・25日(土)	センキュウ、キョウウ収穫作業、キハダ植樹		14		
	薬用植物国内栽培の実施	秋田県八峰町、秋田県美郷町、新潟県新発田市、新潟県新潟市の4自治体にて試作栽培の実施。						
	高浜町薬用植物栽培連携 協定締結	薬用植物国内栽培の促進に関する連携協定	平成27年3月26日(木)	福井県高浜町 城山荘	薬用植物栽培試作園地視察、連携協定締結式	12		
岐阜市薬用植物栽培連携 協定締結	薬用植物国内栽培の促進に関する連携協定	平成27年3月27日(金)	岐阜県岐阜市 杉山	薬用植物栽培試作園地視察、連携協定締結式	13			
4号事業 (学術委員会)	薬用植物指導員認定者 フォローアップ研修	春	てのひら薬草園	平成26年 4月26日(土)	植物の解説ラベル約700種にQRコード貼付。	8		
	秋	製薬会社工場見学	平成26年 11月27日(木)	救心製薬株式会社製工場	午後1時から約2時間	16		
共益事業 (事務局)	ICMCM	香港ICMCM「漢方薬及び健康食品展示会」で東京都薬用植物園のポスター、薬用植物国内栽培事業のポスターを展示						
	薬祖神祭 薬用植物生け花展	秋の七草、オオミサンササ、エビスグサ池 参加企業:3社(8名)、ツムラ、イフキ、協栄技 研	平成26年10月17日(金)	昭和薬ビル2F	薬祖神祭賛成協力事業 中山 麗子(草聖舎テクニカルスタッフ)	2,861		
	新年賀詞交歓会		平成27年 1月 28日(水)	神田明神 明神会館		85		